

特集

幸せな介護って!?

介護のお仕事『ほんとー』の ところ。

キツイ、しんどいというイメージを
もたれがちな介護のお仕事。
本当のところはどうなのでしょう?
“現場の生の声”を先輩たちにお聞きするべく、
若手介護福祉士が集う「若者会「絆」」の
メンバー3名にお集まりいただきました。

介護福祉士をめざした きっかけは?

吉村さん／田舎で育ったので、
周りにお年寄りが多い環境でした。
よく可愛がってもらっていたとい
うのがあったからでしょうか。

堀口さん／小学生くらいの頃から
人と関わる仕事をしたいというの
がありました。一番大きなきっかけ
は、祖父母と同居していたので
が祖父が認知症を患い、家族で
見ていく中で、何もできない虚し
さ“と、この経験が役に立つのでは
ないか“という思いで介護職を選
びました。

梅田さん／私がおばあちゃん子
だったことや、母が障害者施設で
働いていたこ
とで幼い頃か
らヘルパーさん
など、介護職
に興味をもっ
ていました。ど
ちらかとい
うと若い方と話
すのが苦手
で、お年寄りとお話しするのが好
ましかったのかも。



梅田 佳奈さん
特別養護老人ホーム 光清苑



堀口 麻代さん
介護老人保健施設 陽だまり



吉村 光伸さん
グループホーム己斐みどりの家



排泄のお世話など 辛いことはないですか?

吉村さん／最初は排便・排泄
の臭いに抵抗がありました。でも、
臭いや形状などが利用者さんの
体調の変化を知る大切な仕事な
のだと知ってからは、全くしんど
いとは思わなくなりました。

堀口さん／小学生のときに職場
体験で介護施設に行った時、オ
ムツ交換が自分でもびつくりす
るくらい抵抗なくできました。



介護のこ
とを学び、
現場では
良い状態
の便がで
れば喜び
に変わり
ましたね。
一人ひとりの便の違いや臭いにも
気づくようになりました。

介護のお仕事の やりがいは何ですか?

堀口さん／ご主人との馴れ初め
など、昔の事を楽しく話してお話
されるのをお聞きするのが楽しいで
す。また、できない“と思っていたこと
が、別のアプローチを試みたこと
で、”できる“に変わると嬉しいです。

吉村さん／認知症の方がふと、いい
笑顔をされたりするのを目の前で見
ることができるとは、嬉しいですね。
梅田さん／認知症の方と接する機
会が多いのですが、記憶がなくても
人間性は変わらないと思います。
ご家族から昔の人の人柄をお聞きした
りして、ふとした瞬間に現れる心遣
いに心奪われることもあります。



介護職をめざす方に メッセージを

吉村さん／利用者さんから頂い
たアドバイスなのですが、「笑顔を
大切にしてください」。この言葉をいつも
心に留めてがんばっています。

堀口さん／私がそうなのですが、つ
い先に頭でいろいろ考えてしまいが
ちです。でも介護の仕事は現場、利
用者さんの反応
が全てです。プラ
イベートな部分に
も踏み込むので、
その分やりがいも
感じ、皆さんが
思っている以上に
楽しい仕事だと
思いますよ。



梅田さん／どんな
仕事でも辛いことはあると思いま
す。そんなときに相談し合える仲間
をもつてほしいと思います。愚痴を言
い合えたり、喜びを分かちあえる仲
間は大切にしたいです。介護のお仕
事をされている方は、年齢と職歴が
一致しないことが多いです。勉強会
などに参加したりして、様々な方と
交流を深めるといいと思います。

Smile care worker style

働く人も、入居者さんも
一人ひとりに向き合う施設



#02

社会福祉法人
尾道さつき会

星の里居宅介護支援事業所
相談員 中山 真紀さん
'11年入社。8年間介護職員、
相談員を務めながら介護支援
専門員の資格を取得し、'14年
4月からケアマネジャーとして勤
務。家庭では二児の母。

尾道さつき会 でのwork style



「介護は高齢者というひとりでなく、一人ひとりの暮らし向き合う仕事。長く続ける価値があると思いますよ」と話す中山さん。



落ち着いた雰囲気のエントランス。要介護認定を受けた方を対象に、介護保険・医療・福祉サービスのマネジメントを行い、在宅生活を支援している。

働く環境と仕事への姿勢 全てが理想の職場

障害を持つ方やその保護者、教育関係者などの熱意で無認可作業所を開設したことが出発点となった「社会福祉法人尾道さつき会」。現在、特に力を注いでいるのは、女性が安心して活躍するための「仕事と家庭の両立支援」。その尾道さつき会で、実際に子育てをしながら仕事を続ける中山真紀さんにお話を伺いました。この業界へは地元三原へのUターンを機に、ハローワークからヘルパー受講を勧められたことがきっかけだといいます。「高校の時に看護学校への進学も考えていましたし、母が祖母を介護していた環境もあったので、元々興味はあったんです。実習を終えた後に数力所の施設を見学し

ましたが、スタッフさんの雰囲気がとても明るく、利用者さんへの姿勢も一番自分に合っていると感じて、さつき会への就職を決めました。」

スタッフ一人ひとりの 働き方を考えてくれる

中山さんはケアマネジャーとして、本人やそのご家族の相談役として活躍。仕事柄、他施設のスタッフさんや入居者さんと接する機会も多く、視野が広がるのでやりがいも大きいと話します。そんな中山さんは時短勤務で2人のお子さんを育てています。「本来は3歳までの時短勤務を延長してもらって本当に助かっています。スタッフ1人ひとりの生活を理解して、働ける環境を作ってもらえるので、家庭と仕事を両立できていますね」と笑顔で語ってくれました。

【施設情報】

- ・高齢者関係 特別養護老人ホーム 星の里、ケアハウス星の里 ※この他にも16の第二種社会福祉事業を実施しています。
- ・障害者関係 障害者支援施設 尾道サンホーム ※この他にも18の第二種社会福祉事業を実施しています。
- ・介護関係 みつぎ清風園
- ・教育関係 尾道福祉専門学校



社会福祉法人 尾道さつき会

尾道市久保町1786
TEL:0848-37-7272
FAX:0848-37-9610



Place to get used to Smile

お客様と職員が共に
幸せな福祉を創りたい



#01

社会福祉法人
広島県
同胞援護財団
(DOHEN)

理事長 久保 徹さん
2014年、同法人の理事長に就任。質の高いサービスの提供と働く職員たちの満足度を高めることを目指し、福祉・介護・保育業界に新しい風を送り込む。

福祉サービスの業界で 最初に選ばれるために

広島県同胞援護財団は、広島県内に福祉・介護に関する5つの事業と12の施設を運営する社会福祉法人です。同胞の「どう(DOH)」「て(援護)」「えん(EN)をいっしょ(DOHEN)」。高い専門性と心を込めたサービスが信頼を集め、多くのご利用者様に親しまれています。理事長を務める久保さんは、「福祉はサービスという信念の下、ご利用者だけではなく、関わる全ての方を「お客様」として接しています。地域からも愛される「DOHEN」を目指し、笑顔での挨拶は勿論、地域清掃や地域活動を積極的に行うなど日々努力しています。常に相手のことを考えて行動できる職員を育て、接遇マナーなど職員の基礎力を向上させることに

DOHENでのwork style



DOHENのスタッフは笑顔いっぱい。「働く人も幸せであること」を目指す考え方が、仕事の楽しさを日々実感できる環境につながっている。



働く人の意欲を高めるため、人材育成にも熱心。OJTや施設内外の研修を導入し、福祉・介護・保育のプロフェッショナル、経営幹部を目指す環境を整えている。

より「DOHENブランド」の上質なサービスをお届けし、「DOHENブランド」である全てにおいて本物である組織づくりにつなげています。

DOHENで働く 職員の満足度を高める

DOHENでは、お客様だけでなく職員にも理念を体現しています。出産祝いや職場復帰祝金の支給による子育て支援、永年勤続表彰による特別休暇の付与など職員が永く安心して働ける環境を整えています。また専門職として働くか、管理職として働くかキャリア形成も自分で選択でき、今の時代に即した組織を目指しています。2019年4月には、尾道市から「向島認定こども園」の運営をDOHENが引き継ぎ、DOHENで輝ける人材を求めています。

社会福祉法人 広島県同胞援護財団 (DOHEN)

広島市中区大手町3-9-25(法人本部)
TEL:082-246-3200
FAX:082-248-6903



- 【施設情報】広島市内に5事業12施設を運営
- ・高齢者サービス部門 緑ヶ丘静養園、千歳園、可部南静養園
 - ・障がい・児童サービス部門 西志和農園、子供の家三美園
 - ・母子サービス部門 さくら苑、高松ハイツ、メゾンクオーレ
 - ・保育サービス部門 さくら保育所、保育園ゆりかご、大町第二保育園、どうえん吉和認定こども園

2019年4月より、
DOHENに新施設が加わります!



向島認定こども園